

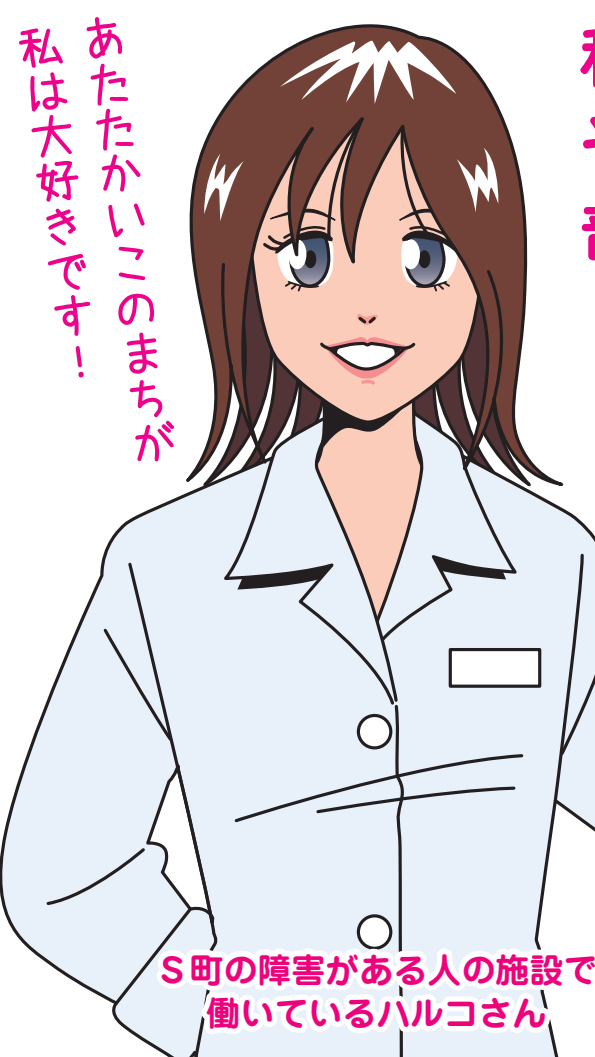


ほらっくん

特集
テーマ

誰もが自分らしく暮らすまち

平成25年9月20日発行(昭和51年12月1日発行)



私のまちでは、障害がある人も、
そうでない人も、同じように
普通の暮らしをしています。

私はハルコ。生まれ育った
このまちの障害がある人の
施設で働いています。私は保育園の頃
から障害がある人たちと交流したり、
まちで出会ったり、普通に
接してきました。

誰もが自分らしく、お互いに
認め合って暮らしている
まちって、ステキですね。
皆さんの住んでいる地域は、
どうですか？

「普通の暮らし」って、なんだろう？
考えたことがありますか？ たとえば……



自分の部屋で自由な
時間を過ごす。 お店で欲しいものを
選んで買う。 バスや電車で
乗って出かけ。 スポーツや映画、
コンサートを楽しむ。
自分のことは自分で決めた。
住みたいところで暮らしたい……。

障害がある人たちが

自分らしく暮らしていきたい気持ちは皆さんと同じ

障害がある人たちの多くは、グループホーム(ケアホーム)で暮らすようになり
ました。グループホームというのは、地域の中にある普通の家といった感
じの建物です。4～5名の人たちが職員の手助けを受けながら生活しています。
そこに暮らす人たちは、普段は会社で働き、福祉の事業所に通ったりして
います。休日や余暇時には、自分で計画して、買い物に
出かけたり、地域の行事に参加したり、趣味の活動をし
たりしています。



小林 彰さん

社会福祉法人ふれあいネットワーク
総合支援課 (上田市真田町)

障害がある人も、それぞれかけがえのない
個性を持った人たちで、自分らしく暮ら
していきたいと思います。それは中
学生の皆さんと同じです。



障害がある人たちの
福祉サービス

幸せな暮らしの支援

●相談支援

その人らしい暮らしを
一緒に考えます。

●余暇活動

地域の活動などにも
参加します。

自分らしい仕事

●就労支援

自分の得意なことを
活かして働きます。

●就労移行支援

一般企業で働く準備をします。
資格取得を目指す人も。

自分らしい暮らしの場

●グループホーム

自分の暮らしたいように
生活できます。

●入所施設

障害が重い人も、リハビリ
などをしながらゆったり通
こします。



アート活動で才能を発揮
したり、スポーツで活躍
したり……

丁寧な仕事が自慢です。

グループホームから仕事
などに通う人もいます。

ノーマライゼーションを実現するために

だれもが「ノーマル(普通・正常)」な生活を送れる社会をつくる。
それがノーマライゼーション(normalization)です。

障害がある人たちの
普段の生活

まちの会社やお店で

障害がある人も
そうでない人も
一緒に働いて
います。

コンビニで

働いて得たお金で
好きな物を買える
幸せ。

まちの中で

地域の人々が、温かく
接してくれる幸せ。

行きたいところに
自由に移動できる。

ハルコさんの経験 障害がある人たちの交流



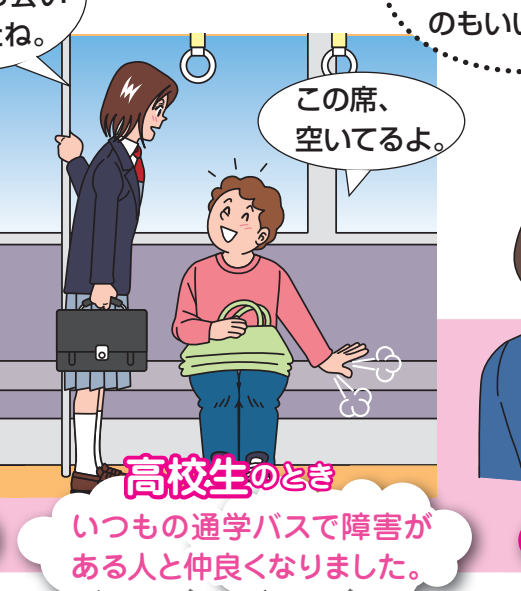
保育園のとき
私が保育園の頃、施設の人たちと
一緒に運動会を楽しみました。



小学生のとき
施設訪問で、皆さんが一生懸命
に働く姿を見て感動しました。



中学生のとき
生徒会で交流会、夏休みには施設
でボランティアを体験しました。



高校生のとき
いつもの通学バスで障害が
ある人と仲良くなりました。



短大生のとき
保育科の実習で、
この施設に来ました。

Let's Try 障害がある人と私が
つながるための 3つのコツ

1 いいところを探しよう

できないことではなく、いいところ、
すごいところを見つけてみましょう。

2 言葉だけじゃなく心の会話で

身振りや筆談、いろいろな会話がある。
軽く手を握るだけ、あなたがそこに
いても、気持ち伝わる。

3 時間をかけてつきあおう

最初から全部はわからない。ちょっと失敗してもあきらめないで。あなたが誰かと友
だちになる時も、こんなふうに相手のことを知っていくはず。



障害があるってどんなこと？

身体や脳が、他の多くの人と同じように
機能しないために起こる「暮らしにくさ」
のことを「障害」と呼びました。でも、そ
の「暮らしにくさ」は、地域の中で楽に
することもできるのです。

協力：
社会福祉法人ふれあいネットワーク(上田市)、社会福祉法人廣済会アトリエ CoCo(長野市)
社会福祉法人長野県社会福祉事業団 水内荘(長野市)、長野市立豊野中学校(長野市)

各校のボランティア・地域活動の紹介

麻績村筑北村
学校組合立 筑北中学校

笑顔で「ニコ・ハキ・ドン」

福祉交流体験を通して学んだこと



手作りの福笑い
中学生が来ると
楽しいもんだね。
▲いじちゃんやあちゃんの笑顔に、
こっちも笑顔になりました！



我が校伝統の「筑中ソーラン」も披露
▲帰る頃は涙を流す人も……
また来て
くれや〜。

筑北中学校では「ニコニコ・ハキハキ・ドンドン」
課題解決(通称：ニコ・ハキ・ドン)の合言葉
のもと、様々な活動を行っています。地域を知り、地域
に学ぶ活動の一環として筑北タイム(総合的な学習の時
間)で、1年生は地域の施設を訪問し、福祉
交流体験を行っています。昨年度は「てとと
と麻績村幼稚園」「グループホームてとと
と和合」「デイサービスセンターみづき」を
訪問し、交流活動を行いました。

最初の交流では、利用者さんに声をかけ

ても振り向いてもらえなかったり、話が通じなかったり
と課題が残りました。施設職員の方にアドバイスをいた
だき、相手の方がどのように感じられるかを大切に考
え、交流内容を決めていきました。次の交流では、声の
大きさやしぐさ、表情にも気を配ると、利用者さんの笑
顔が見られ、帰る時には涙を流して握手してくださる方
もいました。



▲車いすのタイヤをきれいに。

この体験を通して私たちは、相手の立場
で物事を考えることや、相手の考え方や生
き方を大切に思う気持ちを学びました。今
後も福祉交流体験を重ね、地域に生きる一
人として学んでいきたいです。

私たちの学校では、
こんな活動をしています。



各校のボランティア・地域活動の紹介

飯山市立 城北中学校

地域に貢献!! エコ・クリプロジェクト

エコへの意識を高めよう



2m掘ったぞ！この中
にいっぱい落ち葉が集
まるというアイデア。



落ち葉が
たくさん!!!
エコ・クリ中
袋いっぱい
集めるぞ!!!



ごみとは分別
しなきゃね!

城北中学校は、開校4年目の学校です。
新しい学校の新たな活動として、昨年度、生徒
会執行部では「地域に貢献する活動！」“全校生徒のエコ
への意識を高める活動！”という思いを込めて「エコ・
クリプロジェクト(エコロジー・クリーンプロジェクト)」
を企画・運営しました。

自然豊かな校区で、地域に貢献できる活動はな
らぬか？――生徒会執行部で考えた結果、学校
周辺のごみ拾い・落ち葉集めをすることにしま
した。また、「エコに対する意識を高めたい」という
思いから、「拾ってきた落ち葉を腐葉土にして学
校の花壇や菜園で利用しよう！」と考えました。

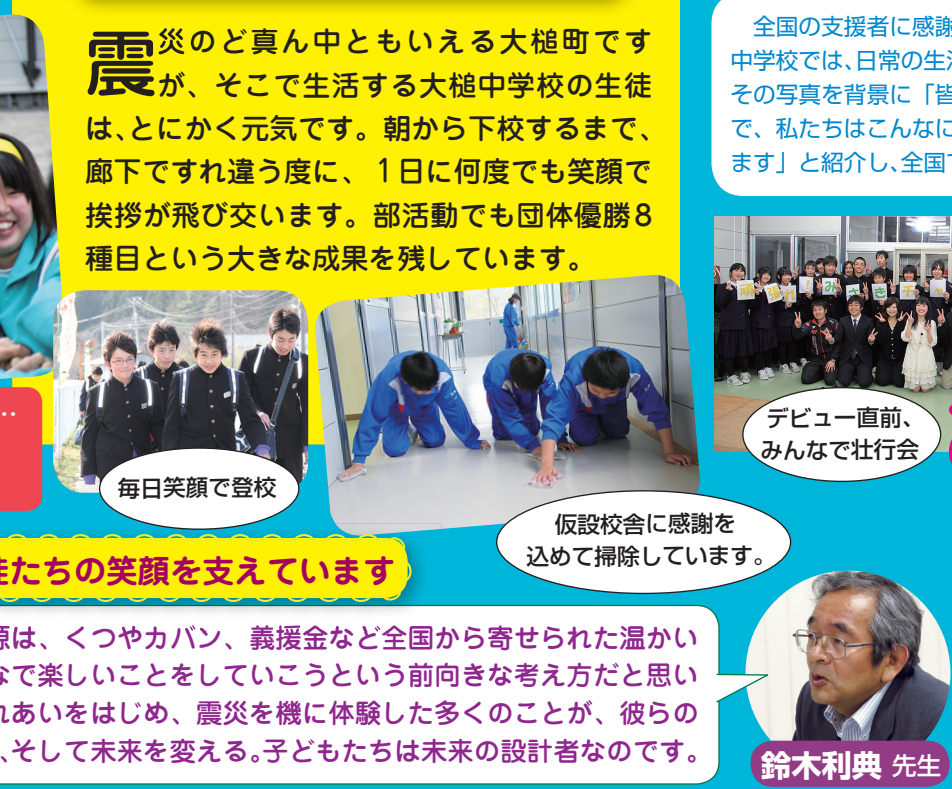
11月の半ば、日頃お世話になっている地域への感
謝の気持ちを込めて、ごみ拾い・落ち葉集めを行いました。
学校周辺、通学路、普段利用している駅周辺を各クラス
で分担して行いました。
活動の後、次のような感想が聞かれました。「エコ・ク
リをやって、地域がきれいになったので良かった」「ほか
にも地域のためにできる事があつたら積極的に
活動できたら良いなあと思いました」。
「エコ・クリプロジェクト」を今後も続け、
城北中の伝統として、地域と
城北中をつなぐ活動になる
ようにしていきたいです。

あの震災を
忘れないで



東日本大震災で大きな被害を受けた大槌町。

笑顔を保ち元気に大槌中



大槌中学校は、全校生徒267名中、
被災生徒は181名に上り、半数に近い
127名が家を失い、仮設住宅から通
学し、ほとんどの生徒が身内が知人
を失っています。

笑顔を保ち元気に大槌中



大槌中学校は、全校生徒267名中、
被災生徒は181名に上り、半数に近い
127名が家を失い、仮設住宅から通
学し、ほとんどの生徒が身内が知人
を失っています。

18歳までの子どもがかけられる「子ども専用の電話」



チャイルドライン
フリー
ダイヤル 0120-99-7777

あなたのまちの
ボランティアセンターへ行こう!



どこにあるか
わからないひとは
こちらまで!

この新聞の発行には、皆さんの赤い羽根共同募金が役立てられています。